

2023年11月1日

令和5年度 VOL.37

～みはらしの丘 晩秋の装い～

こがね

コキアは黄金色へ

国営ひたち海浜公園の「みはらしの丘」では、約3万3千本のコキアが紅葉を終え、丘全体の色合いは茶色味を帯びてきました。今後は日を追うごとに茶の色が抜けていき、黄金へと色を変化させます。今年は10月下旬の気温が高く、紅葉見頃（後半）が延伸したため、11月3日頃に丘の3割程度が黄金色になる予定です。そのため、**丘一面が黄金色となる前に11月7日の抜き取りを迎える予定**となります。季節の移ろいを感じさせてくれたコキアが魅せる、最後の色の変化をお楽しみください。



撮影/2023年11月1日



紅葉（見頃後半）

撮影/2023年10月27日



紅葉（見頃）

撮影/2023年10月19日



ライムグリーン

撮影/2023年8月17日



くすみグリーン

撮影/2023年9月10日



緑と赤のグラデーション

撮影/2023年10月16日

◆最後の色変わり

コキアはヒユ科ホウキギ属で、ユーラシア大陸の乾燥地帯原産の一年草。コキアの色合いは夏から秋にかけて、爽やかなライムグリーンからくすみグリーン、緑と赤のグラデーションを経て紅葉、赤と茶色のグラデーションへと変化してきました。最後の色変わりとなる「黄金コキア」は、葉や茎が枯れた茶色の後、完全に水分が抜けた状態。触り心地にも変化があり、夏の“ふわふわ”とした触感は、ホウキのように堅く“ツツツ”とした手触りへ変化します。

【コキア】 ■品種数:1品種(ルージュ) ■本数:約3万3千本 ■場所:みはらしの丘 ■植栽面積:約1.9ha

◆コキアは「干支の巨大地上絵」の材料に

みはらしの丘では、春に向けたネモフィラの準備のため、11月7日（火）の休園日にコキアを抜き取ります。抜き取ったコキアの一部は、冬の風物詩として毎年大観覧車の下に登場する「干支の巨大地上絵」の材料として使用します。今回は「人々の願いを叶えるために天から舞い降りる龍」をテーマに、輪郭には“松の間伐材”、影の部分“松ぼっくり”、毛並みを乾燥させた“コキア”や“バンパスグラス”で表現して、2024年の干支「辰」を描きます。

【干支の巨大地上絵】

- 制作期間:11月27日(月)～12月15日(金) ※休園日・雨天等の休日含む
- 制作体験:12月9日(土) 10:00～13:00 ※雨天中止
- 展示期間:12月16日(土)～1月8日(月祝) 9:30～16:30
- 場 所:大観覧車前



昨年の黄金コキア (2022年11月5日撮影)



干支の巨大地上絵 (2022年12月18日撮影)

**Information**  
みはらしの丘では、11月中旬からネモフィラの種まきが始まります。

公園公式SNSもご覧ください お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 田中・渡邊・田野  
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339  
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp>